

2019年4月1日

各 位

## 2019年度入社式 社長挨拶（要旨）

皆さん、おはようございます。入社誠におめでとうございます。  
新たに36名の仲間を当社にお迎えできることを大変うれしく思います。  
日産化学グループ2,500名を代表し、心から歓迎の意を表します。

初めに、当社の企業理念体系についてお話します。

「社是」は、私たちが大事にしている価値観をあらわしています。

日産化学らしさとは何か、を考えると、また価値判断の拠りどころとして常々意識してください。

「社是」のもとに、企業理念を掲げています。これは当社の社会的な存在意義は何か、を意味しています。

更に今から3年前、長期経営計画 **Progress 2030** を策定、コーポレートビジョン「人類の生存と発展に貢献する企業グループの実現」を定めました。

社是、企業理念、コーポレートビジョンを支える土台として **CSR** 基本方針を制定しています。  
これら企業理念体系を構造的に理解し、行動規範として強く意識することを心がけてください。

次に、社会人としての第一歩を踏み出す皆さんに、社長として、社会人の先輩として、心がけて欲しいことを3つお話します。

一つ目は、「誠実」ということです。当社グループは社風、企業風土として「誠実に、愚直に」を大事にしている会社です。

私たちは化学会社に勤める者として、技術系・事務系を問わず、サイエンス、ケミカルに係わって仕事をしています。サイエンス、ケミカルは自然法則の上に成り立っています。自然法則は手を抜くと必ずほころびが出るものです。絶対にごまかしが効きません。

このことを常に念頭に置き、コンプライアンス、法令順守を始めとして、企業人としての高い倫理性を持つことは当然ですが、誠実に、愚直に、一生懸命取り組むことしか成果を得ることができない、ということを肝に銘じて頂きたいと思います。

二つ目は、「変化は進化」という言葉です。

企業は変革によって成長、発展を遂げるものですが、変革は過去の延長線上にはありません。変革を起こすためには、これまでの変遷そして目の前の仕事に対し、常に疑問を持つこと。皆さんは、大学で定理、定説を学んできましたが、これからは基本的に答え、解のない世界が待っています。すなわち、定理、定説を疑い、周囲を巻き込みながら、自分自身或いはチームで納得のいく解、仮説を導き出すこと。そのために自らの持つ能力・知恵を最大限に発揮する事が求められます。

皆さんは5月から配属される部署において、週、月、年単位で繰り返す業務も中には出てきます。その業務を何とかして前とは同じようにしないことです。このことは多大な労力を要しますが、それを成

し遂げるエネルギーが若い皆さんにはあります。初めは失敗しても良いと思います。失敗から何かを会得して、人は進化します。私は、当社がイノベーションを引き起こすためには、「挑戦」する姿勢を重んじる企業風土が更に醸成され、定着することが必要と考えています。

皆さんも、身近な小さいことから、是非変化を創り出すことへの挑戦を今日から始めてください。

そして三つ目は、「仕事を好きになる」ということです。

私は入社して5年目の頃、今の仕事が自分にとって天職か否かで随分悩みました。

しかし、考えても分からない。そこで、徹底的に仕事をして、与えられた仕事をとことん面白くしてみようと割り切ることにしました。試行錯誤を繰り返す中で、ようやく今の仕事こそ天職だと、気づく瞬間がありました。悩みながらやり続けることで、自分の天職、使命とは何かを探す。このプロセスを経験することが大事だと考えます。

プロフェッショナルとアマチュアを区別する能力の1つに、やり抜く力があると思っています。そして、このやり抜く力は、情熱と粘り強さでできており、それを身に付けるためには、まず「仕事と真正面から徹底的に向き合い、好きになること」が必要ではないかと思えます。

皆さんもこれから真摯に仕事と向き合い、心底仕事を好きになって頂きたい。その結果、やり抜く力が身に付き、高いパフォーマンスが発揮されるはずです。

話を終えるにあたり、皆さんに一つの言葉を贈ります。

**Extra effort makes difference between good and great.**という言葉です。

仕事以外で何か、素養・教養ともいべきものを継続的に身につけること。この継続的が肝要です。このような自己研鑽が、これから皆さんが過ごす会社生活の質を大きく変えていくことでしょう。

私たちは、激変する不確実な時代であるからこそ、決して変化を恐れず、失敗にひるむことなく挑戦を続け、全員の知を融合し、力を合わせることで、未来を切り拓き、次の高みを目指していかねばなりません。

最後に改めて、当社グループの仲間として「共に夢に向かって頑張っていきましょう」という熱い歓迎の気持ちをお伝えして、私の挨拶とします。

本日は入社、誠におめでとうございます。

社長 木下小次郎

本件に関するお問い合わせ先
日産化学株式会社 経営企画部 CSR・広報室 (東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング) TEL:03-4463-8123 E-mail : csr_pr@nissanchem.co.jp